

●「SHINWA WALK〜伝説そぞろ歩き」は、「ギリシャ神話と日本神話のハイブリット」という手法で、郷土の神話、伝説、民話の足跡をたどるロマン紀行です。新しい伝説の世界をお楽しみください。

SHINWA WALK 16

桶狭間合戦伝説 その②

伝説
そぞろ歩き

棺衣
織って解き、
時稼ぎ、
あなたを待つのも
松風のうち

棺衣

織って解き、
時稼ぎ、
あなたを待つのも

III



なんと二つある古戦場跡

意外な真相を確かめ

弱冠27歳の信長率いるわずか3000人の軍が、42歳の経験豊富な義元率いる総勢25000人の軍に勝利し、日本の歴史が大きく変わるようになった桶狭間の戦い。その古戦場跡とされているのが、緑区桶狭間と豊明市栄町の2地区一帯です。なんと古戦場跡が二つあるのです。

桶狭間周辺には、長福寺、桶狭間古戦場公園、戦評の松など古戦場ゆかりの史跡と伝えられるものが数多く残っています。桶狭間古戦場公園には合戦450年にあたる平成22年、新たに信長、義元の等身大の銅像も建立されています。また、豊明市栄町の高徳院前には桶狭間古戦場伝説地には今川義元の墓、桶狭間弔古碑など史跡が残っていて、高徳院の境内には義元本陣跡の石碑もあります。果たしてどちらが本当の桶狭間古戦場跡地なのか、論議が巻き起こり、大々的に調査が実施されましたが、結局決着がつかず、2地区とも桶狭間古戦場跡ということに。



ここで種明かしすると、実は2地区は直線距離でわずか1キロほどしか離れておらず、両地区周辺で両軍入り乱れて合戦が繰り広げられたのではないかというのが真相のようです。二つの古戦場跡を散策すると、意外なことを発見します。それは義元の足跡を辿る史跡はたくさん残されているのに、信長ゆかりのものは一つも残っていないこと。あくまで「義元が終焉を迎えた地」として供養されているのです。信長の足跡をみつけるつもりで古戦場跡を散策すると、真新しい銅像しかなく拍子抜けすることになるので念のため。



夫を20年待ち続けた妻 荒れくれ者も最後は港に

信長といえば「鳴かぬなら殺してしまへトトギス」の川柳が有名です。なるほど短気て直情径行な性格がよく表現されていて、桶狭間合戦も短期決戦を制した信長らしい戦いといえますが、ギリシャ神話では、夫の帰りを20年も待ち続けた貞淑な妻の話があります。ペネロペの機織りがそれ。

ペネロペはトロイア戦争のギリシャ軍の勇将オデュッセウスの妻です。ギリシャ軍は、オデュッセウスの提案したトロイアの木馬作戦により、10年続いたトロイア戦争に勝利したものの、勝利に酔ってしまって、ギリシャ軍に味方してくれたアテナへの感謝を忘れたことで罰が下ります。オデュッセウス一行は帰還中にさまざまな災難に遭遇し、10年間も漂流することになりました。

夫のオデュッセウスについて経っても帰らないので、イケア王妃であるペネロペの元へは国王の座を狙って求婚者が何人もやってくるようになりました。そこで機織りの作戦に出ます。年老いたオデュッセウスの父、ラエルテスのための棺衣を織り上げたら再婚相手を選ぶと誓ったのです。そして昼間は衣を織り上げ、夜になると昼間に織った糸を解いていました。この作戦により、いつまで経っても棺衣は完成せず、求婚者たちは待たざるをえなかったのです。

その頃、オデュッセウスは生きているという噂が広がりに、息子のテレマコスが探しに行きます。その噂は本当で、オデュッセウスは20年ぶりにイケア島に戻っていて、父子は再会を果たしました。しかし、「いったん母の所へ戻れ、生

16th Letter



▼高徳院前には桶狭間古戦場伝説地(豊明市栄町)。

▼公園として綺麗に整備されている桶狭間古戦場公園(緑区桶狭間)。



きていたことは内緒にしておけ」と告げます。

数日後、オデュッセウスが自宅を訪れると、求婚者たちもせいぞろいしていました。ペネロペはオデュッセウス家秘蔵の強弓を取り出し、「この弓を引いた人と結婚します」とみんなの前で告げます。ものすごく大きい弓で、誰にも引けません。結局、オデュッセウスが引き「我こそは、この家の主人オデュッセウスだ」と名乗り出たのです。しかし、20年間も夫の顔を見ていないペネロペは、本当に夫なのか確信が持てません。そこでオデュッセウスが結婚の際、森に出かけて松の木を伐採し寝台を作ったことを話すとペネロペも納得。二人の20年ぶりの再会を喜んだのです。

オデュッセウスとペネロペの結婚生活第2章については神話では言及されていませんが、二人の価値観には大きなギャップがあったはず。それを乗り越える大きな愛があったことと思います。どんな荒れくれ者もどんな冒険船も最終的には港に帰ってくるのです。

※今回は、豊明・二村山に伝わる身代わり地蔵伝説について特集します。お楽しみに。

■写真/Kiyoshi K ■イラスト/Rei ■取材文/Icarus